

## 令和4年度 家庭の情報モラル推進部会の取組について

### 1 家庭の情報モラル推進部会の取組

#### (1) 目的

情報モラル（特にスマートフォンやインターネットとの正しい関わり方）についての実態把握の分析結果を基に、児童生徒の発達段階に応じた実践に向けた働きかけを提案するとともに、これまで配付した啓発リーフレットの効果的な活用方法について検討する。

#### (2) 実施内容

##### ①重点

GIGA スクール構想による1人1台端末が導入された今だからこそ、親子で本腰を入れて対話し、健康面やトラブルに発展する危険性等を理解した上で家庭における情報端末を使用する際の約束事を定め、積極的・効果的な活用の啓発を図る。

##### ②リーフレット作成に当たって

リーフレットの必要性について部会で議論となったが、様々な意見を基にした検討の結果、家庭に届くリーフレットのよさを生かし、健康面やネット依存、情報モラル啓発動画を盛り込んだ内容とする方向でまとまった。

##### ③学校・関係諸機関への配付について

リーフレットの配付に当たり、教員向け授業での活用例、家庭向け補足資料や活用例を作成し、各校へ通知した。また、リーフレット配付後に、教育センターHPへ掲載すると共に各学校まなびポケットのブックマークへの追加等、周知・活用が進むよう働きかけを行った。

また、配付先として児童相談所及び子供相談支援センターとも連携した。

##### ④情報モラル啓発のためのリーフレット作成の効果検証について

リーフレットの効果検証のため、市立小中学校計8校に保護者・児童生徒向けアンケートを依頼した。アンケート結果をGoogle Formsで集計し分析の上、成果と課題としてまとめ、次年度の方向性を検討する。

##### 【アンケート結果概要】

- ・回答者数 163名（前年度約380名）依頼学校数を増やしたが、回答者数が前年度より減少した。
- ・小学4年生及び中学1年生の児童生徒、保護者の回答が、他の学年に比べて多い傾向があり、前年度と概ね同様の分布

※以下アンケートの全10問中Q1～Q5まで、肯定的な回答の割合を記載（単位％）

- ・Q1 リーフレットの内容が「よくわかった・まあまあわかった」 児童生徒 92.0、保護者 91.4
- ・Q2 リーフレットをもとに情報機器とのつき合い方についてお家の人と話をしましたか 児童生徒 77.9、保護者 77.9
- ・Q3 リーフレットにある二次元コードを使用しましたか 児童生徒 50.3、保護者 47.9
- ・Q4 二次元コードのうち、「ルール作りのための関連動画」「インターネット依存度テスト」「ゲーム依存度テスト」への関心が特に高かった。
- ・Q5 二次元コードの内容は役に立ちましたか 児童生徒 84.1、保護者 88.5

### 2 令和5年度における家庭の情報モラル推進部会の方向性について

第2回の部会（2/2）において、協議・確認した内容は以下のとおりである。

- ・二次元コードの活用率が低かったこと、自由記述「内容を紙面で完結してほしい」を踏まえ、リーフレットまたは紙媒体でない形態（Webやアプリ等）で啓発を促したとしても、家庭ではその先になかなか踏み込まないのではないかと。
- ・リーフレット作成に賛否はあるが、年に1度家庭に届くリーフレットには一定の意義がある。
- ・啓発のねらいや対象を明確にし、内容、周知方法、授業や家庭での活用例を検討する。
- ・児童生徒の端末活用は高度化し、危険性が増しているためより具体的内容を示す必要がある。
- ・児童生徒の情報活用能力の意識調査結果分析と作成した情報モラルリーフレットの効果検証結果を踏まえ、家庭での情報モラル教育に関する意識啓発のため、リーフレットを作成していきたい。
- ・配付先は、今年度同様に関係部署とも連携していく。